

奈良信用金庫の環境への取組みについて

【春日山原始林保全活動／奈良のシカの保護育成】



当金庫では、SDGs の一環として、特別天然記念物である「春日山原始林の保全再生」と「奈良のシカの保護育成」に取り組んでいます。

世界遺産にも登録されている春日山原始林ですが、外来種の侵食などにより200年後には消滅する危険性があるなどの課題があります。

加えて、春日山原始林と共に生態系に密接に関わる奈良のシカを守っていくことが、地域と共に成長する信用金庫として重要であると考えています。

<主な取組み内容>

○保全事業への寄付

春日山原始林の保全活動および奈良のシカの保護育成のため使用される「奈良公園観光地域活性化基金」へ、当金庫の期間限定 定期預金「奈良公園観光地域活性化」募集総額の0.01%相当額の寄付を行っています。

2019年11月には9回目となる同定期預金の取扱いを開始し、2020年2月には同基金に100万円の寄付を行い、累計寄付額は490万円となりました。

この活動を通じて、より多くの方に春日山原始林と奈良のシカに興味を持っていただきたいと考えています。

寄付金は、特別天然記念物である春日山原始林を未来へ向け守り育てため、また、奈良のシカの保護育成のための事業に使われています。



【郡山城跡 桜保存会 清掃活動への参加】



当金庫が本部を置く奈良県大和郡山市には、「さくらの名所100選」に選ばれた郡山城跡の美しい桜があります。例年、3月末から4月初旬には「大和郡山お城まつり」が開催され、約1000本の桜が咲き誇る姿を見ようと、県内外から多くの人が集まります。

年2回程開催される桜保存会の清掃活動には毎回100名程度の役職員が参加し、当金庫の一大行事になっています。